

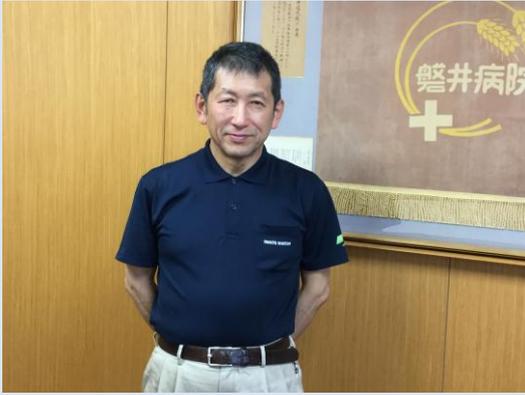


連携いあい

平成29年5月
第16号
岩手県立磐井病院

「新年度のスタートにあたって」

病院長 加藤 博孝



世界情勢は混沌としております。日本においては、少子高齢化、国の財政難による医療介護制度への財政削減の影響があり、病院経営も厳しさを増しております。4月の異動で、新採用者+転入者で新しいメンバー58名を迎えました。4月12日には、オリエンテーションのプログラムの一つとして、新採用の全職種（看護師・助産師・薬剤師、一般事務、医師、栄養士）を対象に、多職種連携ワークショップ（OJT）を行いました。これは、多職種のグループで患者さんの療養計画を作るというものです。参加者の評価も高く、今後も継続していく予定です。

【今年度のイベント、予定等】

8月には2015.9月から足掛け2年にわたる**院内増改築工事が完成予定です**。これまで、救急・中央処置室、化学療法室等が完成し、現在は最終の歯科・口腔外科外来工事が行われています。

9月2-3日には、医師、看護ほかすべての職種が参加する4年に1回の**県立病院総合学会**が盛岡で開催されます。これに向けて全職種が当院から多数の発表をしていただきたいと思いますと考えております。

12月には、**病院機能評価の受審**が予定されています。病院機能評価は、適切で質の高い医療を安全に提供するため、医療の質の継続的な向上を目的として、外部により様々な面からの第三者評価を5年ごとに受けるもので、前回は2013（H25）年でした。また、同じ12月に磐井病院母乳推進委員会は**Baby Friendly Hospital (BFH)**を申請します。BFHとはWHO、UNICEFが提唱している「母乳育児成功のための10カ条」を長期にわたって遵守し、実践する産科施設のことです。受審にあたっては、病院スタッフ及び地域の皆様を含めてママと赤ちゃんを応援していく必要があります。ご協力をお願いいたします。

【地域連携の取り組み】

地域連携室では、昨年7月より、市内の連携医療機関・施設への訪問を始めました。昨年度は全6回で延べ27施設を訪問させていただきました。各ご施設にお伺いした際には、当院に対するご意見・要望や苦情などご遠慮なくお話しできますようお願いいたします。

当院においては、これまでどおり健全経営を維持するため、多職種連携やクリニカルパスの活用により仕事の効率を上げ、やりがいがある仕事と生活が調和した、楽しく働ける職場を目指しております。また、地域連携室と退院調整部門の協力により、地域との医療・介護・福祉との連携を強め、地域の皆さまにとって『なくてはならない磐井病院』と言われ続けるため、職員全員で働く1年にしたいと存じます。

連携している各施設のスタッフの皆さまと顔の見える関係を構築して、スムーズに仕事をしていきたいと考えております。

どうぞよろしくお願いいたします。



【病院外観】

—目次—

- 「新年度のスタートにあたって」…………… 1 ページ
- 「MRI を更新しました」「紹介率、逆紹介率」… 2 ページ

- 「新任医師、研修医の紹介」…… 3 ページ
- 「内視鏡室の紹介」…………… 4 ページ

MRIを更新しました

放射線技術科 勝田 元

平成29年3月1日より、新しいMRI装置『シーメンス社製 MAGNETOM Aera 1.5T』が稼働しています。この装置は広範囲をより早く、より高分解能に撮像するため、検査効率が格段に向上し予約検査以外の緊急検査が入っても、以前より比較的スムーズに対応できるようになりました。さらに体動補正技術が優れており高齢者・小児・腹部検査の動きの影響に対しても強く、息止めや動きの抑制が難しい状況下でも高品質な撮像が可能です。また、旧装置よりもマグネットがコンパクトで開口径が広く、さらに静音技術を採用することで安心感をもたらし、検査環境も格段に向上しています。

今まで不得意であった非造影の血管描出や心臓検査等に対応できるようになり、検査の可能性が大きく広がりました。当院のMRI検査は約6割が頭頸部ですが、非造影の大動脈描出や下肢動脈撮像など、CT検査でヨード系造影剤を使用出来ない患者さんのための検査も増えていくのではないかと期待しています。

【新しいMRI装置】

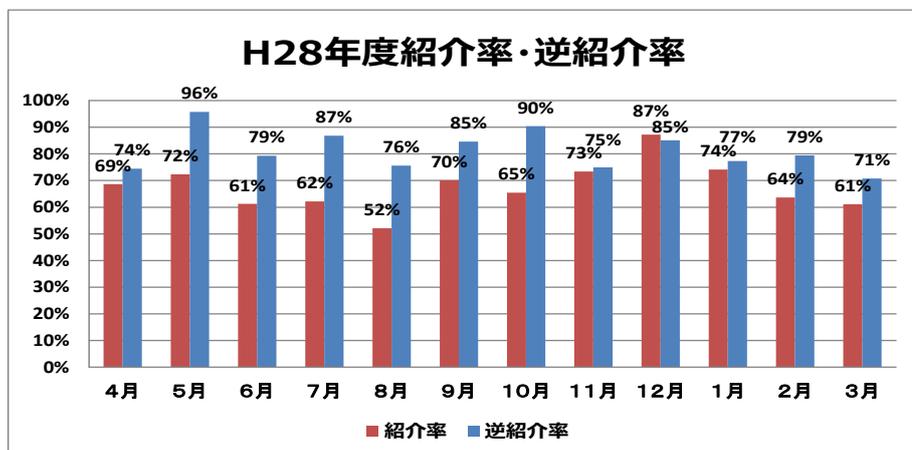


【非造影の下肢動脈】



平成28年度の紹介率・逆紹介率の状況

当院は、平成25年10月より地域医療支援病院の指定を受けております。患者に身近な地域で医療を提供されることが望ましいという観点の元、地域の中核病院として各医療機関と適切な連携を図っていくよう努めております。そうしたなかで、紹介率・逆紹介率は、第一線の地域医療を担う、かかりつけ医を支援する一指標として用いられており、地域医療支援病院の承認要件ともなっています。



〈承認要件〉※①～③のいずれかを満たすこと

- ①紹介率 80%を上回っていること
- ②紹介率が 65%を超え、かつ、逆紹介率が 40%を超えること
- ③紹介率が 50%を超え、かつ、逆紹介率が 70%を超えること

皆様のご協力のおかげで、昨年度の紹介率・逆紹介率が承認要件を満たすことができました。

今年度も患者様の紹介、逆紹介についてよろしく願いいたします。



◇ 新任医師の紹介 ◇

(とうばい ひろみ)



氏名：東梅 ひろみ

役職名：小児科医長

出身大学：大分大学

所属学会：日本小児科学会

(小児科専門医)

専門分野：一般小児

ひとこと：どうぞよろしくお願い致します。

(おだ ひでと)



氏名：小田 英人

役職名：循環器科医師

出身大学：岩手医科大学(H26年卒)

所属学会：日本循環器学会

専門分野：循環器

ひとこと：よろしくお願いします。

(はたけやま ともき)



氏名：畠山 知規

役職名：麻酔科長

出身大学：自治医科大学(H15年卒)

所属学会：麻酔科学会

ひとこと：どうぞよろしくお願い致します。

(たかはら まさとし)



氏名：高原 政利

役職名：麻酔科医長

出身大学：岩手医大(H20年卒)

所属学会：日本内科学会、日本呼吸器学会、日本呼吸器内視鏡学会、日本集中治療学会、日本麻酔科学会

ひとこと：どうぞよろしくお願い致します

(まえかわ あやこ)



氏名：前川 絢子

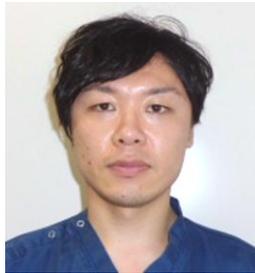
役職名：産婦人科医長

出身大学：新潟大学(H16年卒)

所属学会：日本産科婦人科学会(産婦人科医専門医)日本周産期新生児学会(母胎・胎児専門医)

ひとこと：よろしくお願い致します。

(なりた よしお)



氏名：成田 吉央

役職名：産婦人科医師

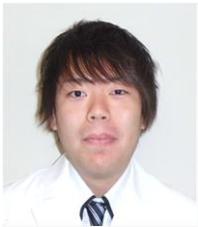
出身大学：東京医科大学(H26年卒)

所属学会：日本産科婦人科学会

ひとこと：よろしくお願い致します。

◇ 研修医の紹介 ◇

(いのうえ たくや)



氏名：井上 拓也

出身大学：岩手医科大学

ひとこと：研修医としてたくさんのことを学びたいと思います。よろしくお願い致します

(ろっぼんぎ けい)



氏名：六本木 啓

出身大学：岩手医科大学

ひとこと：一生懸命頑張ります！

(みやち ようすけ)

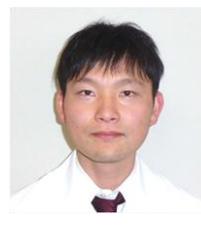


氏名：宮地 洋佑

出身大学：東北大学

ひとこと：よろしくお願い致します。

(うしやま しんべい)



氏名：牛山 心平

出身大学：弘前大学

ひとこと：元気に頑張ります！

内視鏡室の紹介

内視鏡室 佐藤 光恵



【消化器科の先生方】

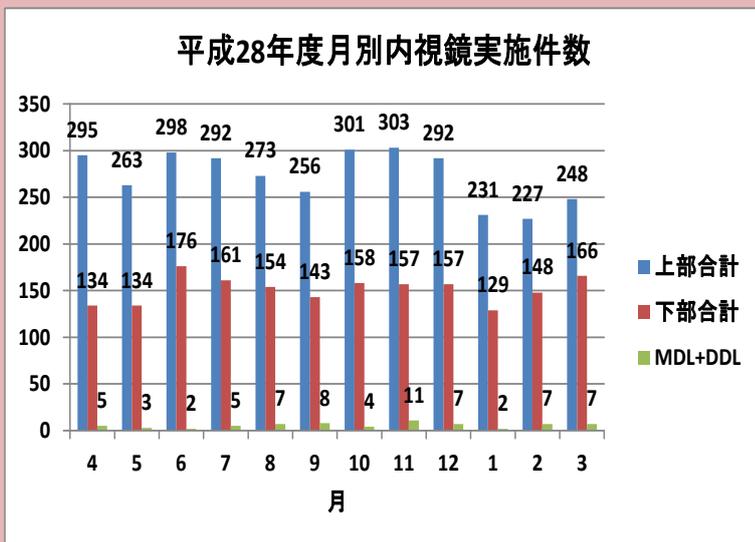


【内視鏡室スタッフ】

内視鏡室では検診後の精査から内視鏡による治療まで、内視鏡専門医をはじめとした消化器内科医師6名、看護師5名（うち内視鏡技師2名）・看護補助者・医療クラークで検査・治療に対応しています。消化器内視鏡治療においては、消化管出血に対する止血術はもちろんのこと、早期癌の内視鏡的粘膜剥離術や切除術、膵・胆管系の治療などを実施しています。内視鏡検査は患者さんの不安や苦痛を伴うこともあるため、待合室に検査用のパンフレットやポスターなどを掲示し情報提供をしています。

また患者さんに寄り添える看護を目指し、入院治療に対し術前訪問・術後訪問を実施しています。更に病棟看護師や医師と情報共有するためサインイン・タイムアウト・サインアウトを導入し、安全な治療やケアの提供に努めています。緊急内視鏡にも24時間対応出来る体制で、患者さんや御家族の方が安心して安全に検査・治療が受けられるようスタッフ全員で取り組んでいます。

平成28年度内視鏡実施件数



平成28年度月別内視鏡実施件数
(上部合計+下部合計+MDL+DDL)

月	件数	月	件数
1	434	7	463
2	400	8	471
3	476	9	456
4	458	10	362
5	434	11	382
6	407	12	421
合計		5152	



岩手県立磐井病院

【連絡先】

〒029-0131 岩手県一関市狐禅寺字大平17
 電話(0191)-23-3452 Fax (0191)-23-9691
 連携室直通 Fax (0191)-21-3990

【編集・発行】

岩手県立磐井病院 地域医療福祉連携室
 病院ホームページ:<http://www.iwai-hp.com>
 公式 Facebook:<http://www.facebook.com/iwaihp>